

平成19年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	27,643	29,519	1,876	(注1)
施設整備費補助金	2,972	2,972	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	204	364	160	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	90	90	0	
自己収入	28,645	29,109	464	
授業料、入学料及び検定料収入	9,062	9,041	△ 21	(注3)
附属病院収入	19,210	19,603	393	(注4)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	373	465	92	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,338	5,102	764	(注6)
引当金取崩	0	120	120	(注7)
長期借入金	668	665	△ 3	(注8)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	1,192	1,744	552	(注9)
計	65,752	69,685	3,933	
支出				
業務費	48,275	48,238	△ 37	(注10)
教育研究経費	30,938	30,124	△ 814	
診療経費	17,337	18,114	777	
一般管理費	6,939	6,297	△ 642	(注11)
施設整備費	3,730	3,727	△ 3	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	204	364	160	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,338	4,816	478	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	2,266	2,266	0	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	65,752	65,708	△ 44	
収入-支出	0	3,977	3,977	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金の予算額には前年度よりの繰越金のうち使用予定額141百万円及び決算額には前年度よりの繰越金2,017百万円を含んでおります。

(注2)予算段階では予定していなかった補助金への応募申請に努めたため、予算額に比して決算額が159,624,435円多額となっております。

(注3)授業料、入学料及び検定料収入については、学士課程及び博士課程後期の授業料収入が減少したこと、学士課程の入学料収入が減少したこと、博士課程前期の授業料、入学料収入が増加したことにより、予算額に比して決算額が20,336,720円少額となっております。

(注4)附属病院収入については、病床稼働率の向上に努めたこと等により、予算額に比して決算額が392,526,635円多額となっております。

(注5)雑収入については、主として国債及び譲渡性預金による短期運用による利息収入及び特許権等収入により、予算額に比して決算額が90,995,700円多額となっております。

(注6)予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人及び民間)からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して764,576,017円決算額が多額となっております。

(注7)予算段階では計上していなかった賞与引当金取崩額110,390,365円及び退職給付引当金取崩額9,799,191円を決算額に計上しております。

(注8)長期借入金については、競争入札の結果により、予算金額に比して決算金額が3,150,000円少額となっております。

(注9)予算段階では予定していなかった取り崩しを行ったため、予算額に比して552,559,382円決算額が多額となっております。

(注10)業務費については、退職給付が予定より少なかったこと、及び手術件数の増等による診療費用増により、予算額に比して決算額が37,259,832円少額となっております。

(注11)一般管理費については、効率的な執行及び経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が641,666,617円少額となっております。

(注12)(注8)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が3,150,000円少額となっております。

(注13)(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が159,624,435円多額となっております。

(注14)(注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が478,076,884円多額となっております。